

1 審議会名	上田左岸地域協議会
2 日時	令和5年3月16日 午後1時30分から3時00分まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	浅川委員、小熊委員、倉島委員、小林委員、小山委員、田中委員、田村委員、富田委員、西入委員、樋口委員、松田委員、宮下委員、安江委員、山岸委員、和田委員
5 市側出席者	【事務局】滝沢城南地域振興政策幹、間宮塩田地域自治センター長、藤沢川西地域自治センター長、片山地域内分権推進担当係長、滝澤地域内分権推進担当主査、城下地域内分権推進担当主査、村山地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	公開・一部公開・非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年3月20日

協 議 事 項 等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項

(1) 各分科会協議

【第1分科会：自治・まちづくり】

調査研究テーマについて協議

共同集会施設の新築、改修、耐震補強補助金、コミュニティ活動等交付金、多面的機能支払交付金、わがまち魅力アップ応援事業補助金、活力あるまちづくり支援金、住民自治組織交付金の交付実績の推移を見ながら現状や課題と思われることについて意見交換を行った。

以下、委員からの主な意見

- ・一年で交代する自治会長が多い中で、自治会対象の補助金制度について自治連単位で説明会を行うなど、自治会長が制度について理解しやすくするような配慮が必要である。
- ・自治会長が困った時に、ホームページなどを通じて、困りごとに応じて活用できる制度にリアルタイムでアクセスできるような仕組みを構築したらどうか。

【第2分科会：子育て・福祉・教育】

調査研究テーマについて協議

みんなの塩田食堂視察（3月19日）について（要約）

- ・ほとんどが親子で参加、母親の居場所にもなっている。
- ・大学生やボランティアから、無償で遊びや、学習支援が受けられる。
- ・公民館で行っているという安心感から気軽に参加できる。
- ・運営スタッフの高齢化、子ども食堂について理解が進んでいない状況もある。

以下、委員からの主な意見

- ・「こども食堂」という言葉にマイナスイメージはないか、貧困を表に出さない工夫が必要である。
- ・本当に貧困な人は来ないという話もある。
- ・夏に長野大学生との懇談を設けたい。

・次回の分科会に、県から、信州子どもカフェ上田地域プラットフォーム事務局の職員を派遣していただき、現状と課題について話を聞きたい。

【第3分科会：産業・地域振興】

調査研究テーマの設定について資料を配布し協議

・左岸地域の動脈である「別所線及び国道143号沿線の活性化について」をテーマとしたい。

ー委員概ね了承ー

以下主な意見

(Ticket QRなどアプリの活用について)

・別所線の乗車に使用できたが、これを国道143号沿線のバス停が検索できるようにして観光PRとして活用できないか。

・ポイントが貯まるようにすることはできないか。魅力あるポイント設定で、楽しい乗車ができる取組が観光を活性化させると考える。

・市外の利用者が増え、上田市で消費することが期待できるとよい。

・上田市でもTicket QR、うえいくなど複数のアプリがあるが、統合して使い勝手のよいものがないか。

(その他)

・将来、青木村から松本市へつながることを考えると上田市も物流が活発になり、転入者が増えることも期待できる。

・川辺小学校への通学手段について、親の送迎による生徒が多い。渋滞の問題も発生している。

・別所線を途中下車して楽しめる場所もある。

・途中下車しても、また駅まで戻らなければ帰路に着けないことが問題である。

・塩田の大豆「ナカセンナリ」、赤ワイン用のブドウなど地元生産の農作物にも宝の山となるものがあると思うが、県外の人には気づくが地元住民が気づくことができない。

・シェアサイクルも塩田町駅にあるが知られていない。アピール、宣伝する場所が市内には少ないからだと考える。塩田、川西地域にはないため、青木の道の駅に出かけていく状況だ。

・生産者と流通をつなぐ楽しい場所「マルシェ」が欲しい。

(2) その他

住民自治組織交付金要綱及び活力あるまちづくり支援金の一部改訂について(報告)

市民参加・協働推進課から資料を基に説明

4 その他

次回の開催予定

日時 4月20日(木) 午後1時30分から

場所 川西公民館 大ホール

5 閉会